

＜電池内蔵形＞

階段通路誘導灯兼用形 ＜電池内蔵形＞

ZNG2192FH・ZNG2292FH
ZNG4192EH・ZNG4292EH

非常灯専用形

＜電源別置形＞

NG2292ZELM・NG4292ZELM

■ 器具の取り付け工事には電気工事士の資格が必要です。（施工は必ず電気工事店（有資格者）に依頼してください。）

施工説明

工事店様へ・・・この取扱説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。

安全に関するご注意



警告

- 取付工事は、次頁の「取り付けかた」にしたがい確実に行ってください。取付工事に不備があると、火災・感電・落下の原因となります。
- 壁直付専用です。天井への取り付けはしないでください。火災・感電・落下の原因となります。
- 器具を改造しないでください。火災・感電・落下の原因となります。
- 表示された電源電圧（定格電圧 $\pm 6\%$ ）・周波数以外の電源で使用しないでください。火災・感電の原因となります。
- 蓄電池は当社非常用照明器具内蔵専用蓄電池です。他の器具との組み合わせ、および器具外で使用しないでください。
- 蓄電池は絶対に分解、改造をしないでください。火災・破裂・感電・やけどの原因となります。



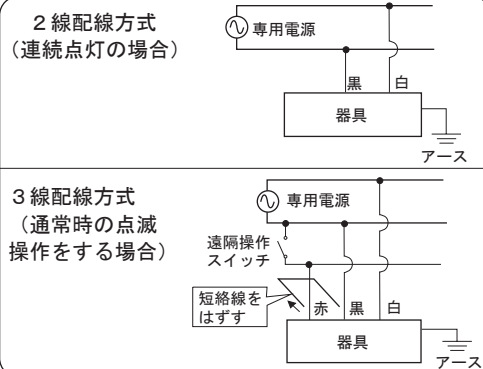
注意

- 本器具は一般屋内用照明器具です。直射日光のあたる場所・湿気の多い場所・振動のある場所・雨の吹き込みを受ける場所・腐食性ガスの発生する場所・風などが直接あたる場所では使用しないでください。火災・感電・落下の原因となることがあります。
- 周囲温度は5~35℃以外では使用しないでください。火災、蓄電池の劣化及び非常点灯しない原因となります。
- 階段通路誘導灯として採用する場合、消灯する時は、所轄消防署の事前承認を得てください。

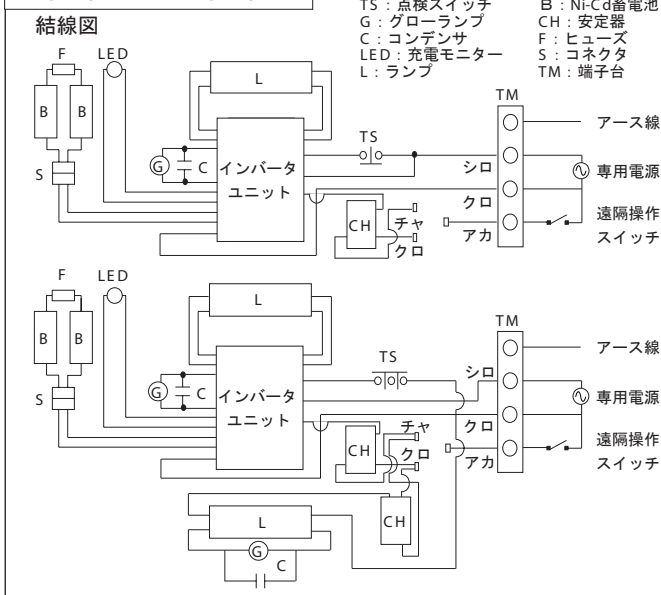
配線方法

＜電池内蔵形＞の場合（右図）

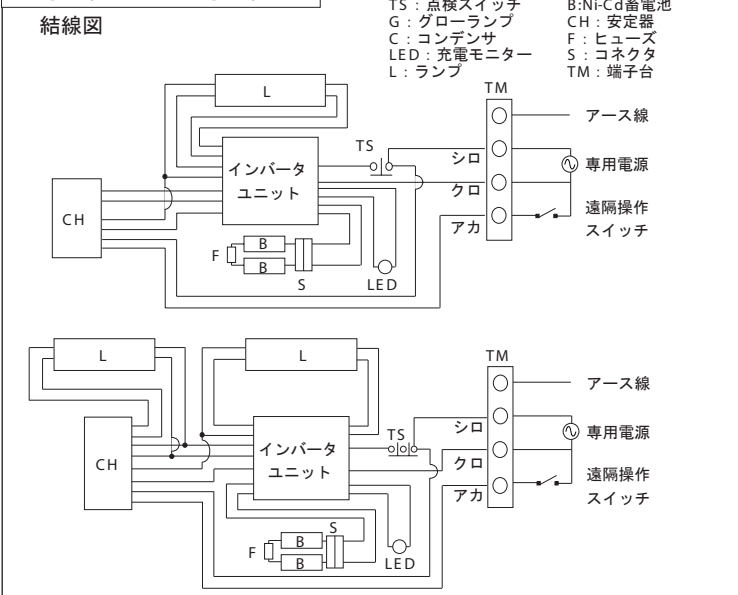
- 配線は一般屋内配線法にしたがってください。（耐火規制は受けません）
 - 専用電源回路の配線途中には遠隔操作スイッチを設けしないでください。また、分電盤の専用回路開閉器には非常用照明器具である旨を表示し、不用意に操作されないようにしてください。
- (1) 2線配線方式（連続点灯をする場合）
階段通路誘導灯として採用する場合は、原則としてこの配線方式で結線してください。
 - (2) 3線配線方式（通常時の点滅操作をする場合）
端子台の白（接地側）と黒を専用電源に接続し、端子台の黒と赤の間の短絡線（赤）を外した後、黒と赤との間に遠隔操作スイッチ回路を設けてください。階段通路誘導灯として採用する場合は、消防署へご相談ください。



ZNG2192FH・ZNG2292FH



ZNG4192EH・ZNG4292EH



＜電源別置形＞の場合

- (1) 別置の予備電源と非常灯器具間の配線は耐熱配線とする。

各部の名前と取り付けかた

図は取り扱いを説明するため一部省略抽象化した図です。

器具質量と背面取付穴（図1）

図は2灯用を表します。

電池内蔵形 20Wタイプ

ZNG2192FH	(単位: mm)	6.7Kg
ZNG2292FH		8.3Kg

電源別置形 20Wタイプ

NG2292ZELM	(単位: mm)	7.4Kg
------------	----------	-------

電池内蔵形 40Wタイプ

ZNG4192EH	(単位: mm)	11.6Kg
ZNG4292EH		15.0Kg

電源別置形 40Wタイプ

NG4292ZELM	(単位: mm)	13.5Kg
------------	----------	--------

- 1、本体の背面取付穴を利用して器具質量（図1）に十分耐えられる場所に取り付ける。
取り付けに不備がありますと器具の落下の原因となります。
- 2、本体の電源穴から電源線、アース線を引き込み接続する。
 - 2-1、＜電池内蔵形＞の場合
電源線、アース線を速結端子台に接続する。（図3）
 - (1) 20Wタイプの場合、使用する地域の電源周波数にあわせて、端子台に取り付けられたコネクタに、安定器口出線に取り付けられたコネクタを接続する。（図2）
 - (2) 電源線、アース線を指定の長さにストリップし接続穴にしっかりと差し込む。
差し込みが不十分ですと火災・感電の原因となります。
 - スイッチ回路を設けず連続点灯する場合は、付属の短絡線を端子台に接続する。
 - スイッチ回路を設けて点滅操作する場合は、スイッチからの電線を端子台に接続する。
 - (3) 電源線、アース線は速結端子台に接続後、反射板に当たらないよう処理する。
 - アースはアース接続穴を使用し D種接地工事を行う。
 - 解除する場合は、ドライバーで解除部を押し電源線、アース線を引き抜く。
 - 2-2、＜電源別置形＞の場合
電源線を安定器口出線に、アース線を本体に接続する。また非常用別置電源からの電源線を非常用電球用ソケットの口出線に接続する。
アースについては、D種接地工事を行う。
- 3、＜電池内蔵形＞の場合、
蓄電池のコネクタを接続する。（図4）蓄電池のコネクタの接続は、必ず通電後に行う。通電前に接続すると蓄電池が放電してしまいます。
- 4、反射板を、止めねじで確実に取り付け。
- 5、蛍光灯と、グローランプ（20Wタイプのみ）、電球（電源別置形のみ）を確実に取り付け。
取り付けに不備がありますと蛍光灯、または電球の点灯の原因となります。
- 6、本体にカバーを、止めねじで確実に取り付け。
- 7、工事完了時に蛍光灯、または電球が正常に点灯するか確認する。

＜電池内蔵形＞の場合

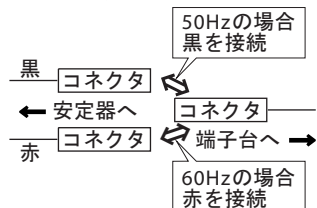
- 常用点灯するか
- Ni-Cd蓄電池は充電されているか
充電モニタが点灯しているかどうか確認する。
充電モニタが消灯している場合は、Ni-Cd蓄電池のコネクタが接続されているかどうか、ヒューズが切れていないか確認する。
- 非常点灯するか
点検スイッチ引紐を引いて非常点灯するか確認する。蛍光灯が非常点灯している間は、充電モニタは消灯します。
- 点検の要領は、裏面の「非常用照明器具の点検」または「階段通路誘導灯の点検」にしたがってください。

＜電源別置形＞の場合

- 常用点灯するか
- 電球は非常点灯するか
- 点検の要領は、裏面の「非常用照明器具の点検」にしたがってください。

コネクタの接続（図2）

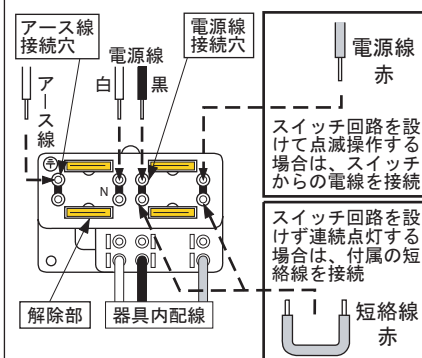
＜電池内蔵形＞20Wタイプの場合



*コネクタには説明ラベルが貼付られています。

速結端子台の接続と解除（図3）

＜電池内蔵形＞の場合

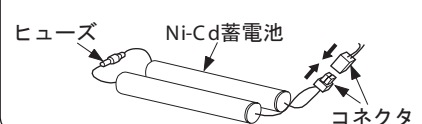


端子台の電流容量20A

適合電線 電源線・アース線
φ1.6、2.0単線 ストリップ長さ 12mm

蓄電池の接続（図4）

＜電池内蔵形＞の場合



仕様

定格（使用温度5～35℃）

形 式	適合ランプ	定格電圧	入力電流	入力電力	定 格 周波数	非 常 時 点灯時間
NG2292ZELM	常 時	FL20SWx2	AC100V	0.72A	47W	50Hz 60Hz 共用 30分 以上
	非常時	非常用電球	DC100V	0.40A	40W	
NG4292ZELM	常 時	FLR40SW/Mx2	AC100V	0.88A	85W	
			AC200V	0.44A	85W	
	非常時	非常用電球	DC100V	0.40A	40W	

形 式	適合ランプ	定格電圧	入力電流	入力電力	定 格 周波数	非 常 時 点灯時間
ZNG2192FH	常 時	FL20SWx1	AC100V	0.40A	27W	50Hz 又は 60Hz 非常灯 として 使用する 場合 30分以上
	非常時	FL20SWx1	密閉形Ni-Cd蓄電池7.2V1650mAh			
ZNG2292FH	常 時	FL20SWx2	AC100V	0.76A	51W	
	非常時	FL20SWx1	密閉形Ni-Cd蓄電池7.2V1650mAh			
ZNG4192EH	常 時	FLR40SW/Mx1	AC100V	0.51A	48W	50Hz 又は 60Hz 誘導灯灯 として 使用する 場合 20分以上
			AC200V	0.26A	50W	
	非常時	FLR40SW/Mx1	密閉形Ni-Cd蓄電池7.2V3500mAh			
	常 時	FLR40SW/Mx2	AC100V	0.93A	89W	
ZNG4292EH			AC200V	0.46A	89W	50Hz 又は 60Hz 誘導灯灯 として 使用する 場合 20分以上
	非常時	FLR40SW/Mx1	密閉形Ni-Cd蓄電池7.2V3500mAh			
	常 時	FLR40SW/Mx2	AC100V	0.93A	89W	
			AC200V	0.46A	89W	

取扱説明

お客様へ・・・この取扱説明書は必ず保存してください。

- このたびは日立照明器具をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくご使用ください。

安全に関するご注意



- 器具を改造しないでください。火災・感電・落下の原因となります。
器具のすきまや放熱穴に、金属類を差し込まないでください。火災・感電の原因となります。
- 器具やランプを布や紙など燃えやすいもので覆ったり、かぶせたりして使用しないでください。
火災の原因となります。
- 煙がでたり異臭がしたら、すぐに電源スイッチを切ってください。火災・感電の原因となります。
- 蓄電池の＋（プラス）極と－（マイナス）極を針金等の金属による接続は絶対にしないでください。
火災・感電・破裂・やけどの原因となります。
- 蓄電池を加熱したり、火や水の中へ入れたりしないでください。破裂する危険があります。
- 蓄電池は絶対に分解、改造をしないでください。火災・感電・破裂・やけどの原因となります。



- 器具の近くで温度の高くなるもの（ストーブ・ガスレンジ等）を使用したり近くに燃えやすいものを置かないでください。火災の原因となります。
- ランプ交換の際には、本体表示及び、取扱説明書にしたがって指定されたランプを使用してください。
指定以外のランプを使用すると、火災・不点灯・絶縁不良の原因となります。
また非常点灯時の点灯時間、及び明るさの不足により非常用照明器具として性能を発揮できません。
- ランプだけを器具から取りはずしての間引き点灯はしないでください。
非常用照明器具として性能を発揮できません。
- 明るく安全に使用していただくために、定期的に清掃、点検をしてください。
不具合がありましたら、そのまま使用しないで工事店・電器店に修理を依頼してください。
ただし点灯装置に不具合がありましたら器具の交換を行ってください。

お手入れ・ランプ交換（必ず電源を切ってから行ってください。感電・やけどの原因となります。）

- ランプの口金付近が黒ずみますとランプの寿命です。そのままご使用をつづけますと明るさが落ちるだけでなく、器具の寿命も低下させます。また非常点灯時の明るさが確保できなくなりますので、新しいランプとお取り替えください。

禁止

必ずしてください

みがき粉・ベンジンなどでふいたり殺虫剤をかけないでください。また器具の水及び洗剤での丸洗いは、絶対にお避けください。傷つき、変形、変色、サビの原因となります。 点灯中や消灯直後は、ランプが高温となっていますので手を触れないでください。 やけどの原因となります。				
ランプがほこりなどで汚れますと、明るさが低下します。汚れが目立ちはじめましたら器具よりランプをはずし、きれいな布にせっけん水を浸してよく絞ってからふきとり、さらに乾いた布でふいて仕上げてください。 化学ぞうきんを使用する場合は、その注意書にしたがってください。 お手入れなどでランプをはずし、再度取り付ける場合は、ランプを確実に取り付けてください。 取り付けに不備がありますと、落下してけが・物損の原因となります。				
ランプ、Ni-Cd蓄電池の交換の際には、本体表示および取扱説明書にしたがい指定のものを必ずご使用ください。 指定以外のランプ、Ni-Cd蓄電池を使用すると、器具の破損の原因となります。 また非常点灯時の点灯時間、及び明るさの不足により非常用照明器具として性能を発揮できません。				
形式	ZNG2192FH ZNG2292FH	ZNG4192EH ZNG4292EH	NG2192ZELM NG2292ZELM	NG4192ZELM NG4292ZELM
交換 ランプ	FL20SW グローランプ（FG-1E）	FLR40SW/M	FL20SW グローランプ（FG-1E） 非常用電球（100V40W・口金E17）	FLR40SW/M 非常用電球（100V40W・口金E17）
交換 部品	6NR-C-2LB Ni-Cd蓄電池	6NR-D-2LB Ni-Cd蓄電池		

非常用照明器具の点検

■ 非常用照明器具は性能の維持・保全のため、点検を行ってください。

- 1、外観点検・・・器具の破損、変形の有無、その他外観的事項に関する点検を3ヶ月に1回を、おすすめします。
- 2、機能点検・・・器具の切替装置の作動試験、蓄電池の性能試験、その他機能的事項に関する点検は6ヶ月～1年に1回実施してください。なお照度測定は3ヶ月に1回を、おすすめします。

(注) (1) 指定のランプを使用しているか点検してください。また反射板やランプの汚れ、点灯状況を点検してください。

(2) 充電モニタが点灯しているか確認してください。点灯していない時は蓄電池のコネクタが接続されているか、ヒューズが切れていないか確認してください。

(3) 48時間以上充電した後、常用電源を遮断し、30分間以上非常点灯するか点検してください。30分間以上非常点灯しない時は、指定の蓄電池と交換してください。

蓄電池は放電後48時間の連続充電を行いませんと十分な機能を発揮できませんので、蓄電池の性能試験は十分日程を考慮されますようお願いいたします。

(2) (3) 項は
電池内蔵形のみ
に適用する。

階段通路誘導灯の点検（階段通路誘導灯として使用する場合）

■ 消防法施行規則第31条の4により誘導灯の点検は行ってください。

- 1、外観点検・・・器具の破損、変形の有無、その他外観的事項に関する点検は3ヶ月に1回を、おすすめします。
- 2、機能点検・・・器具の切替装置の作動試験、蓄電池の性能試験、その他機能的事項に関する点検は6ヶ月に1回実施してください。

(注) (1) 指定のランプを使用しているか点検してください。また反射板やランプの汚れ、点灯状況を点検してください。

(2) 充電モニタが点灯しているか確認してください。点灯していない時は蓄電池のコネクタが接続されているか、ヒューズが切れていないか確認してください。

(3) 24時間以上充電した後、常用電源を遮断し、20分間以上非常点灯するか点検してください。20分間以上非常点灯しない時は、指定の蓄電池と交換してください。

蓄電池は放電後24時間の連続充電を行いませんと十分な機能を発揮できませんので、蓄電池の性能試験は十分日程を考慮されますようお願いいたします。

● 上記の点検結果は点検記録（用紙の例）を参考に記録してください。

階段通路誘導灯として採用している場合は、定められた点検結果書を添え防火対象の区分により1年、または3年に1回、消防機関に報告してください。

点検記録（用紙の例）

設置年月日 年 月 日

取 付 場 所

点検年月日	点検結果		点検者	点検年月日	点検結果		点検者
	外観	機能			外観	機能	
年 月 日				年 月 日			
年 月 日				年 月 日			
年 月 日				年 月 日			
年 月 日				年 月 日			
年 月 日				年 月 日			
年 月 日				年 月 日			
年 月 日				年 月 日			



Ni-Cd

この器具には、ニカド（Ni-Cd）蓄電池を使用しております。

ニカド（Ni-Cd）蓄電池はリサイクル可能な貴重な資源です。ニカド（Ni-Cd）蓄電池の交換、および使用済み製品の廃棄に際してはニカド（Ni-Cd）蓄電池を取り出し、リサイクルにご協力ください。

保証について

- 照明器具の保証期間は、商品お買上げ日より1年間です。但し、安定器は3年間です。
- ランプ・グロー点灯管・ニカド蓄電池などの消耗品は対象外とさせていただきます。
- 保証期間を過ぎているときは、お買上げの販売店（工事店）にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

アフターサービス・・・ご使用中、器具に異常が生じた場合は直ちに使用を中止し、電気工事店または下記のところに、器具の形式・故障状況を連絡のうえ修理を依頼してください。

日立アプライアンス株式会社

〒105-8410 東京都港区西新橋2-15-12
電話(03)3502-2111

2010.10 KTA14894 R6